

日本・モンゴル民族博物館を活用した
但東の地域づくりに関する
意識調査業務

目次

1. 本調査の背景・目的	3
2. 地域および当博物館の概要	3
(1) 地域の概要	3
(2) 当博物館の概要	4
3. 本調査の概要	6
4. 本調査の結果	7
(1) アンケート調査	7
(2) 住民によるワークショップ	11
5. 「多様性のある地域社会に向けて」講演会	32
6. 今後について	33

1. 本調査の背景・目的

1996年に開館した豊岡市立日本・モンゴル民族博物館は、市民文化を振興し、文化活動の拠点とともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るために様々な活動を行ってきました。

2024年度より、市の組織改編に伴い、当博物館は豊岡市役所但東振興局が所管することとなり、博物館のあり方を改めて見つめなおすとともに、地域とのかかわり方や連携についての可能性について、地域の方と共に考えていく必要が出てきました。

そこで、本調査ではアンケートやワークショップを通じて、まずは、但東地域の住民のみなさんの当館への意識を探りました。そのうえで、当博物館の活用によって但東地域の地域づくりに寄与する取り組みアイデアなどの抽出を行いました。

2. 地域および当博物館の概要

(1) 地域の概要

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館がある豊岡市但東地域は、豊岡市の東部、京都府との府県境に位置し、国道426号と国道482号を基軸とした交通体系が形成されています。



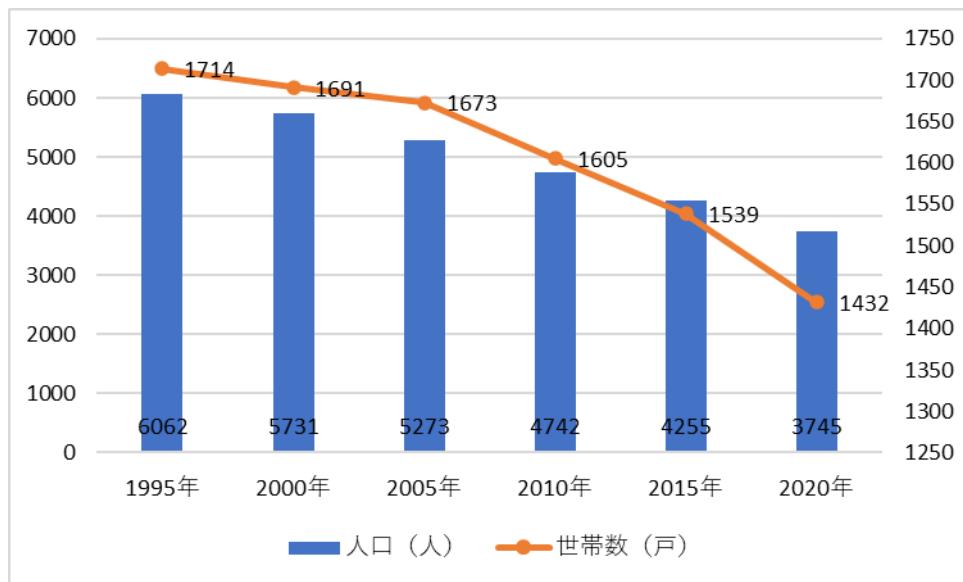
豊岡市全域地図



豊岡市立日本・モンゴル民族博物館

当館以外にも、東井義雄記念館等の施設が立地しているほか、たんとう花公園では、毎年チューリップまつりやひまわり畠が開催されるなど、観光を中心とした集客事業が展開されています。また、シルク温泉やまびこやたんたん温泉福寿の湯の2つの温泉施設もあり、近隣の温泉施設とは異なった泉質を楽しむことができます。

豊岡市但東地域の人口推移は以下の通りです。



※国勢調査小地域集計より作成

当博物館が開館した1996年以降、但東地域における人口・世帯数は減少を続けており、1995年と2020年を比べると、約4割人口が減っていることが分かります。

(2) 当博物館の概要

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館は、「展覧事業」「資料収集保存事業」「普及教育事業」「国際交流事業」の4つの事業を中心としながら、運営を行っています。

それぞれの事業については、以下の通りです。

① 展覧事業

- ・常設展
- ・企画展
- ・その他展示

② 資料収集保存事業

- ・新規資料の収集
- ・資料の貸出
- ・資料の燻蒸

③普及教育事業

- ・市内小中学校への出前授業
- ・小学校来館受入授業
- ・Web 授業
- ・出前講座
- ・体験教室の開催
- ・イベントの開催
- ・トライやる・ウィークの受入れ
- ・情報の発信と公開

④国際交流事業

- ・1985 年～2004 年(旧但東町) 但東町の住民を対象に相互訪問交流を実施。
- ・2005 年～2018 年(豊岡市) 国際化時代に対応できる人材育成を目的に、市内全域の中学生を対象とし、隔年での相互訪問を実施。
- ・2024 年～現在 市民団体「とよおか・モンゴル友好協会」が設立。民間レベルの交流が主であり、市として直接的な交流は実施していない。
- ・2025 年 4 月、旧但東町時代に日本・モンゴル民族博物館に滞在して絵画を制作し、モンゴル国から芸術功労賞を受賞した画家 D. ウルタナサン氏が来館。

3. 本調査の概要

本調査では、「但東地域の住民に意見をいただき、但東の地域づくりに日本・モンゴル民族博物館を活用する可能性を検討すること」を目的に、まずは広く但東地域の住民に意見をいただくアンケート調査を行いました。それらを踏まえて、但東地域内の様々な団体から選出された住民を中心に、活用の可能性について話し合うワークショップを4回実施しました。以下、本調査の内容です。

日時	内容	参加者数
2024年11月25日～ 2024年12月16日	「日本・モンゴル民族博物館に関する住民アンケート実施	—
2025年1月24日	第1回ワークショップ ・福知山公立大学 地域経営学部 教授 渋谷節子先生による講演 ・住民アンケート結果報告 ・ワークショップ参加者の意識調査 ・意見交換	12名
2025年3月17日	第2回ワークショップ ・日本・モンゴル民族博物館の見学 ・「地域とのつながりをいかした博物館」を目指したテーマ別での話し合い	13名
2025年5月9日	第3回ワークショップ ・第2回ワークショップで出た博物館を利用したアイデアについて具体化するための企画書づくり	12名
2025年7月4日	第4回ワークショップ ・3回のワークショップを経ての報告書確認 ・第3回ワークショップの内容について具体的な内容を作成	11人

4. 本調査の結果

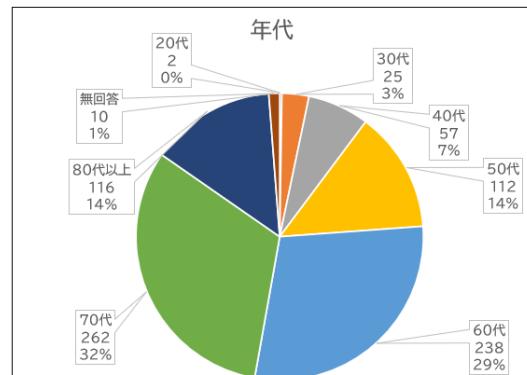
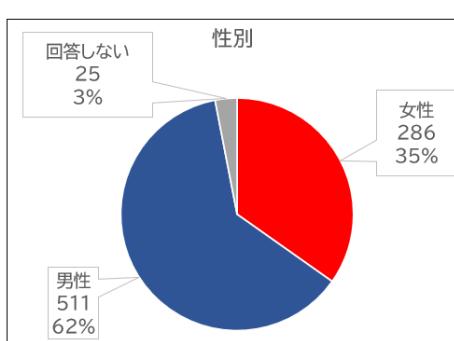
(1) アンケート調査

但東地域の全世帯を対象にアンケート調査をおこない、以下の結果となりました。

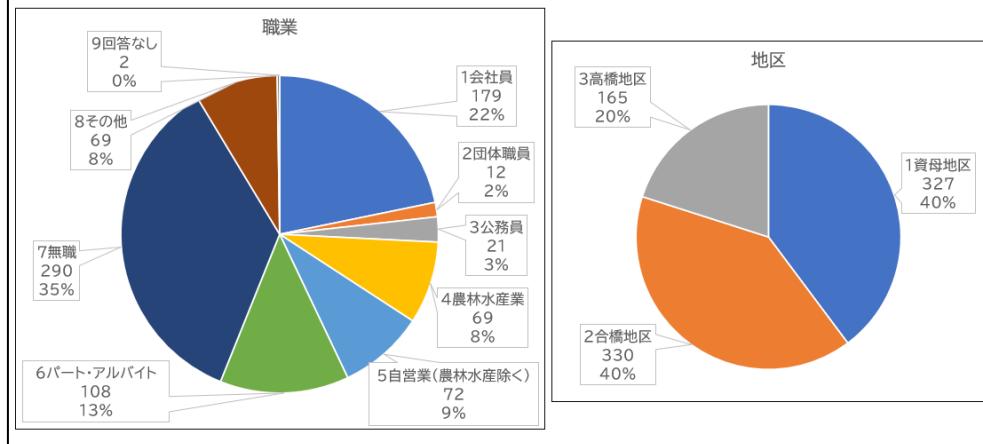
基本情報

1. 実施時期:2024年11月25日～12月26日
2. 配布回収方法:区長を通じて配布・回収
3. 対象世帯:1,589世帯
4. 有効回答数:822回答
5. 回答率:51.7%(有効回答数/対象世帯)

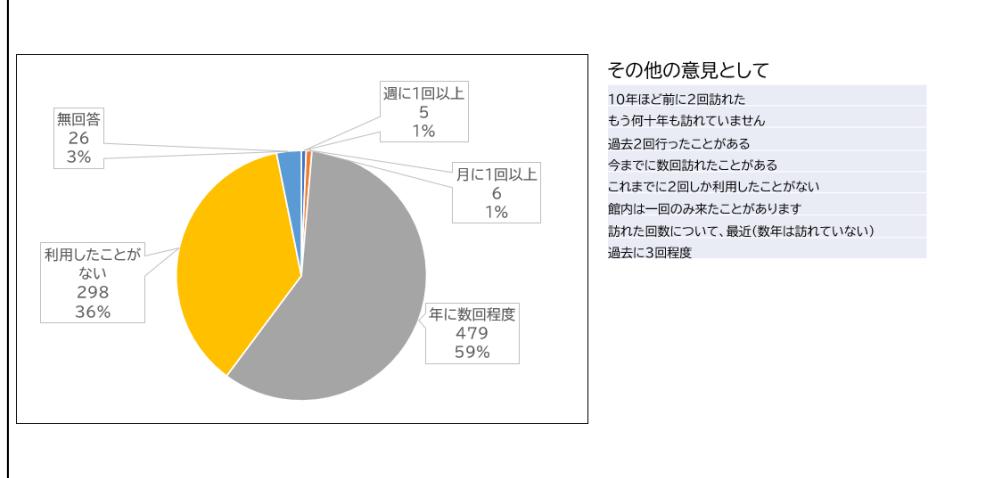
回答者の属性1



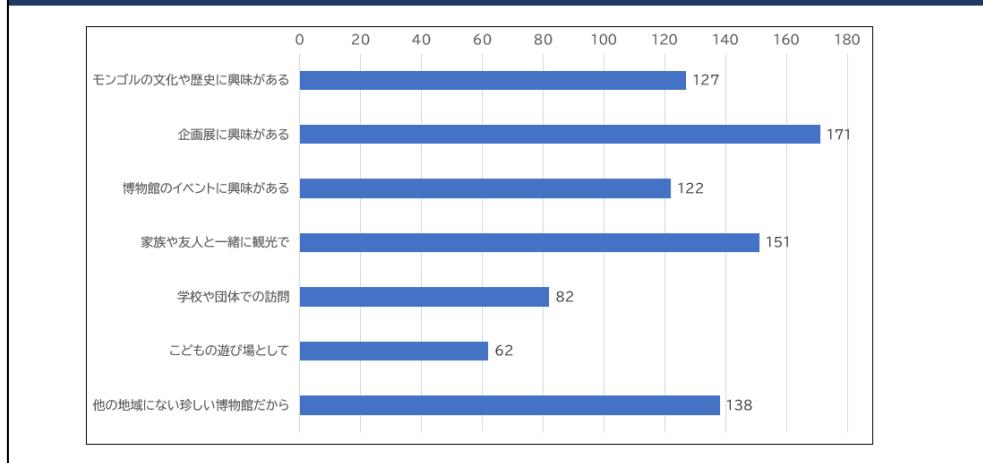
回答者の属性2



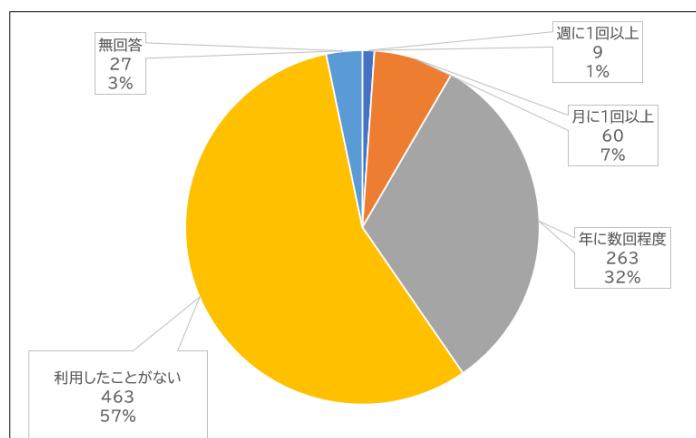
これまでに、日本・モンゴル民族博物館を訪れたことがありますか？



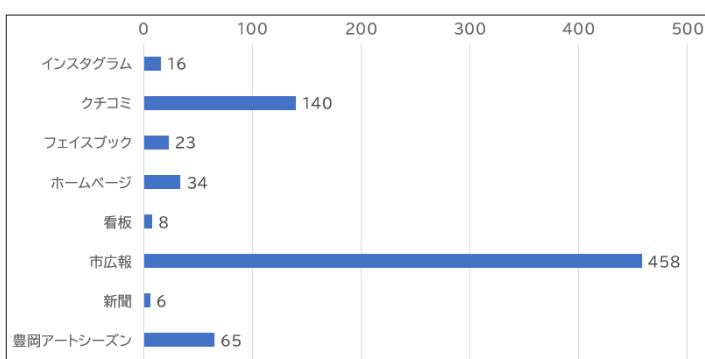
日本・モンゴル民族博物館を訪れた(もしくは訪れたいと思った)理由はなんですか？(複数回答可)



日本・モンゴル民族博物館の情報をどれくらいの頻度でチェックしていますか

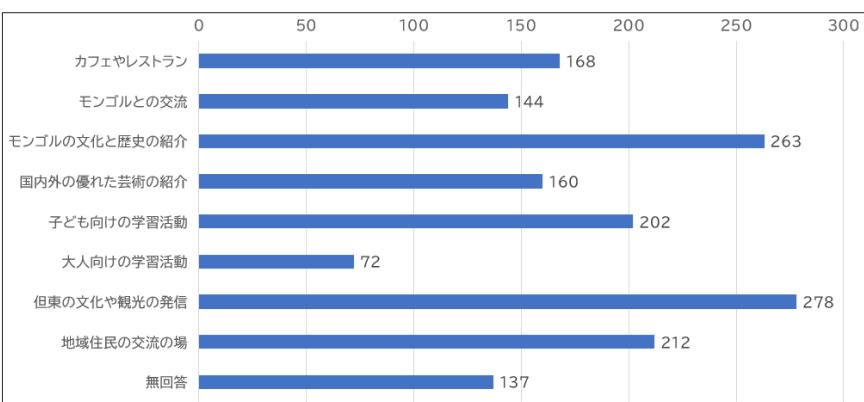


日本・モンゴル民族博物館の情報をどこから得ていますか？(複数回答あり)

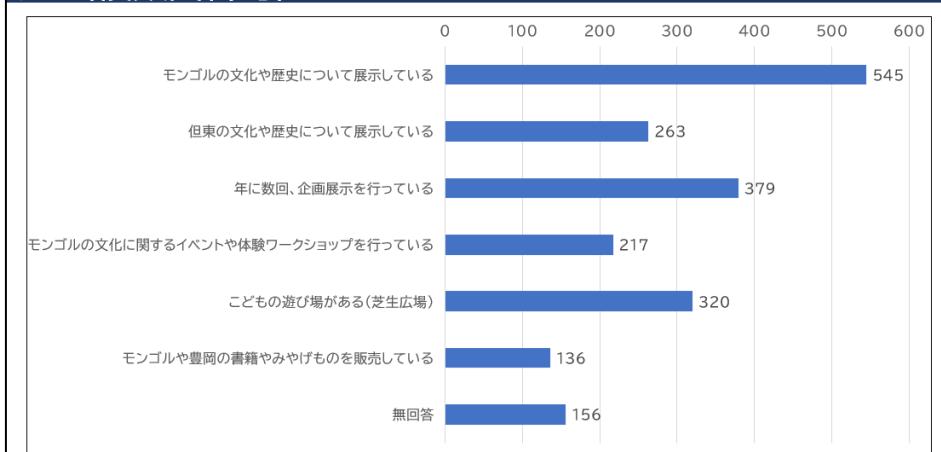


※単一回答の問い合わせでしたが、複数回答されている回答が多数あったため、複数回答も含まれます

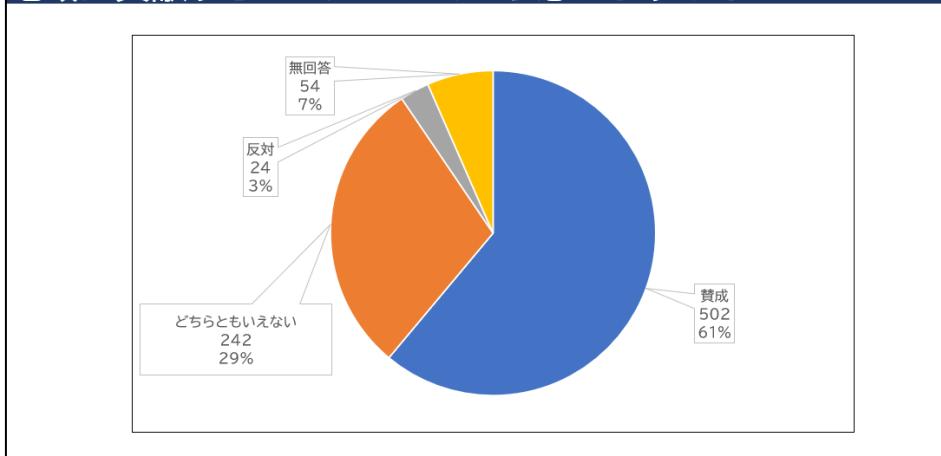
日本・モンゴル民族博物館にどのような役割を期待しますか？(複数回答可)



日本・モンゴル民族博物館が行っている次の取組をご存知ですか(複数回答可)



日本・モンゴル民族博物館が地域やほかの団体と連携して、地域に貢献することについてどう思いますか？



上記の結果以外にも自由記述ができる設問がありました。また、クロス集計を行った結果もありますが、本報告書では割愛いたします。(本アンケート結果の全編をご覧になられたい方は日本・モンゴル民族博物館にお問い合わせください。)

(2) 住民によるワークショップ

豊岡市但東地域にお住まいの住民による日本・モンゴル民族博物館に関するワークショップを開催し、それぞれの回で以下の通り話し合いました。

① 参加者

2024年度(2025年1月～2025年3月)

ワークショップ参加者

分野	所属等	氏名（敬称略）
地域 コミュニティ 組織	資母まちづくり協議会 コミュニティあいはし たかねっと	宮垣 栄
		桑垣 徹
		永井 英司
		大岸 奈美
		衣川 三奈子
		小山 哲哉
移住者	豊岡市地域おこし協力隊 経験者	武藤 保貴
		上田 謙恩
		谷田川 由紀
		岡井 見恩子
子育て世代	但東地域子ども会連絡協議会	坂岡 貴
市立学校	但東中学校	田中 博樹
PTA	但東中学校PTA	井上 剛
モンゴル 交流	とよおか・モンゴル友好協会	岸本 直幸
観光	但東シルクロード観光協会	ジャルガルサイハン・ラマー
産業	豊岡市商工会但東支部青年部	太田 源一
		数森 正悟

アドバイザー

所属	氏名
福知山公立大学 地域経営学部	渋谷 節子教授

2025年度(2025年4月～2025年7月)

ワークショップ参加者

分野	所属等	氏名（敬称略）
地域 コミュニティ 組織	資母まちづくり協議会 コミュニティあいはし たかねっと	宮垣 栄
		桑垣 徹
		永井 英司
		大岸 奈美
		衣川 三奈子
		小山 哲哉
移住者	豊岡市地域おこし協力隊 経験者	武藤 保貴
		上田 謙恩
		谷田川 由紀
		岡井 見恩子
子育て世代	但東地域子ども会連絡協議会	家城 陽子
		今本 翔
市立学校	但東中学校	田中 博樹
PTA	但東中学校PTA	酒井 洋
モンゴル 交流	とよおか・モンゴル友好協会	岸本 直幸
観光	但東シルクロード観光協会	ジャルガルサイハン・ラマー
産業	豊岡市商工会但東支部青年部	太田 源一
		数森 正悟

アドバイザー

所属	氏名
福知山公立大学 地域経営学部	渋谷 節子教授

②1回目ワークショップ

●1回目のワークショップの目標

(1)ワークショップ参加者に対し、博物館の現状・住民アンケート結果・専門家の講演を提供し、今後3回に向けたインプットが行われている。

(2)それらを踏まえ、簡単にインプットに対する感想やアイデア出しを行い、様々な意見を抽出できている。

上記の2つを目標とし、以降の報告の通り、概ね達成することができた。

●実施日時

2025年1月24日(金)19時～20時30分 所要時間1時間30分

●実施場所

豊岡市役所但東振興局2F 大会議室

●参加者

ワークショップ参加者12名

福知山公立大学 渋谷教授

行政関係者3名

ちいきのて4名

●実施内容

・渋谷教授による講演「地域社会と民族博物館」

・住民アンケート結果の報告

・旗上げアンケート

・上記を踏まえた参加者同士の意見交換会

●旗上げアンケート・意見交換の実施結果

旗上げアンケートの結果を踏まえ、3班に分かれて意見交換を実施。

なお旗上げアンケートの設問は以下の通り

1 問目…博物館への年間来訪回数(1.月に1回 2.半年に1回 3.年1回 4.数年行っていない)

2 問目…情報チェックの頻度(1.毎月 2.半年に1回 3.年1回 4.数年見ていない)

3 問目…地域貢献への意識(1.した方がよい 2.どちらかというとしたほうがよい 3.どちらかというとしなくてよい 4.しなくてよい)

<1班>

★旗上げアンケートの結果、博物館への来訪/広報の関心度/地域貢献の意識が高かった グループ

参加者:

名前(伏せています)	1問目	2問目	3問目	合計
A	2	1	1	4
B	2	2	1	5
C	3	1	1	5
D	3	1	1	5

■渋谷教授のお話を聞いて

- ・大学の講義みたいだった
- ・博物館が地域の宝みたいになつたらいいと思った
- ・文化の定義が大きくてびっくり
- ・地域に外国の物を展示する博物館があることで子どもたちが他文化にふれる
- ・他者と自分のことを比較し自分への理解を深める

■その他 自由意見

- ・今でもシルクロードなのか
- ・友達へ紹介しにくい
- ・なぜココにモンゴルなのかストーリーが不明
- ・但東の文化を紹介しているのは勉強になった
- ・キーワードは絹か
- ・まちづくり計画としてシルクロード計画があった
- ・モンゴルの博物館を移設したようなもの
- ・モンゴル帝国がなぜあれほど大きくなつたのか知りたい
- ・博物館とその周辺地域のつながりは大事なんだと思いました
- ・太子町(出身)なので聖徳太子ゆかりの博物館がある
- ・町民への認知度は低い
- ・世界で活躍するモンゴルのバンド「The Hu」
- ・ドラマ・マンガ・アニメとコラボ
- ・モンゴル相撲

<2班>

★旗上げアンケートの結果、博物館への来訪/広報の関心度/地域貢献の意識が2番目に高かったグループ

参加者：

名前(伏せています)	1問目	2問目	3問目	合計
E	2	2	2	6
F	2	3	1	6
G	3	2	1	6
H	4	2	1	7

■博物館利用に関するアイデア

スタンプラリー

博物館カード(ダムカード的な)

モンゴルの食べ物や飲み物を体験できる

聖地巡礼(博物館めぐり)

全国のレアな施設と連携し広報する

民族衣装のコスプレイベント

子どもの遊び場をさらに充実させる

異文化交流の場を作る、リモートでもOK(以前に行っていた交換留学を再現したい)

草刈りのためのヤギの貸し出し

夜の博物館、お化け屋敷、ナイトミュージアム

動く展示物、プロジェクションマッピング(博物館の怖いイメージをあえて利用する)

ジム

道の駅

好評だった個展を常設したい(例:はしもとみお)

「なぜモンゴル?」なぞなぞ看板

ゲルの貸館利用ができるることをよりPRする

ゲル宿泊(中庭なら安全性が確保できる)

ゲルグランピング

ゲルサウナ

■その他の意見

展示品の価値がもっと知られてほしい

キヤツチフレーズがあるといい(モンゴル、子午線を押し出したような)

「シルクロード」とのつながりをもっと活かせないだろうか?

「なぜここにモンゴルの施設?」というギャップを利用する

近くに自動販売機がない、車でないと行けない…というような不便さを逆手にとる、弱みを強みに変える
「希少性」「レア」「ギャップ」「コラボ」

<3班>

★旗上げアンケートの結果、博物館への来訪/広報の関心度/地域貢献の意識が一番低かったグループ

参加者：

名前(伏せています)	1問目	2問目	3問目	合計
I	4	2	1	7
J	4	1	2	7
K	3	3	2	8
L	4	4	2	10

■渋谷教授のお話を聞いて

- ・話が専門的で、すこし難しかった
- ・先日モン博に行ったばかりだったので、お話の内容が実感できた。刺繡のモチーフが、花とかではなく実は肝臓だとか、そういう外国なんだなあという文化の違いを実感できたところだった。

■その他 自由意見

【行ったことがあるか？いつ行った？】

- ・最後に行ったのは小学生の頃とかで、何が印象的だったかとかはあまりない。展示がリアルだった。
 - ・仕事では何度も行っているが、プライベートで行ったことがなくて、観ようとおもつて観たことがない。
 - ・入口まではいくけど、中には入らない。(外を使ったり、体育館に行ったりする)
 - ・そもそもスポーツとか、外に出る方が趣味なので博物館自体にあまり興味がないかも。
- ただ、外を使わせてもらったり、体育館を使った後で、食べるところやカフェがあれば寄りたいと思う。
- ・前はプレイリードッグがいた

【展示の内容について】

- ・服を着られるのが楽しかった！
- ・服を着たときにアレルギーが出たという話を聞いた。
- ・ヤギミルクのふるまいがあった気がする？→たぶん塩味ミルクティーのふるまい

- ・展示がリアルで、子供が怖がった。
- ・昔商工会で、大阪からモンゴル料理店を呼んできたことがあったが、本格的すぎた。肉の臭いが独特なのですごくて、あれから逆にちょっと(ヤギとか羊が)ダメになつた。

■今後やって欲しいことなど

- ・レストランでなくとも、カフェくらいは欲しい。
- ・お茶くらいしたい！
- ・自動販売機も無くなってしまった。
- ・ゲルカフェとか。
- ・モンゴルグランピングとかが良い。→ゲルを建てるのは大変。長期間置いておくには但馬の気候は合わない(カビてしまう)
- ・過ごしやすいゲルとか、中の調度品を工夫する。
- ・モンゴル料理教室があれば行きたい。
- ・モンゴル漫画が流行っている。その展示とか。→コラボカフェみたいなのがあると良い。
- ・グッズが少ない。展示物のキーホルダーとかポストカードとか欲しい。(他の博物館だと、埴輪キーホルダーとかがあって、買ってつけている)
- ・陶器をデフォルメしたキーホルダーとか。
- ・展示しているものが打っていると嬉しい。
- ・モン博のキャラクターっている？→ウランちゃんとバートルくんがいる。
- ・ウランちゃんとバートルくんのグッズがあると良いのでは。

●次回について

3月上旬(日程未定)/日本・モンゴル民族博物館にて実施。
内容は、博物館の見学を行つたうえで、改めてどんなことができるか(来るか・利用するか・活用できるか)の意見出しを行つてもらう。

③2回目ワークショップ

●2回目のワークショップの目標

1回目に多くの情報についてインプットしていただき、意見交換を行った。2回目はその情報プラス実際に博物館を案内付きで巡ってもらい、そのうえで、多くのアイデアを出してもらう。最後に、全ての意見を並べて「重要」「すぐできそう」なアイデアに投票をしてもらい、3回目・4回目の深掘りのための基礎意見とする。

上記の2つを目標とし、以降の報告の通り、概ね達成することができた。

●実施日時

2025年3月17日(月)19時30分～21時 所要時間1時間30分

●実施場所

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館

●参加者

ワークショップ参加者13名

福知山公立大学 渋谷教授

行政関係者3名

ちいきのて4名

●実施内容

・前回の振り返り

・博物館内の見学

・「地域とのつながりをいかした博物館」を目指して以下の5テーマでの話し合い(①以外は任意)

①博物館を「地元の人が通う・使う場所」にするには？

②体験・参加型コンテンツを考えよう

③学びが生まれる博物館を考えよう

④何度も行きたくなる博物館の仕掛けづくりを考えよう

⑤キヤッチフレーズを考えよう

・どんな話が出たか共有し「すぐできそう」「重要」というアイデアに対して丸シールを貼る

●話し合い及び丸シール貼りの実施結果

3班に分かれて意見交換を実施。

テーマは上記の通り。

以下、コメントおよびシールの枚数

1班

No	テーマ	コメント	すぐ	重要	シール計
1	1	Wi-Fiつけてほしい	4	5	9
2	3	地域の人が先生をするワークショップ（だいかい大学のようなイメージ）	1	4	5
3	2	天幕のジャードゥーガルとコラボ		4	4
4	1	飲食可であることの周知が必要→ドリンクコーナーをつくる	2	1	3
5	2	ゲルを建てる体験（日本の素材で作る）	1	2	3
6	2	ゲルで泊まる体験		3	3
7	3	ガイドの定期開催		2	2
8	1	外でコンサートを開催したら集客できそう（馬頭琴のコンサートが昔あった）	1		1
9	1	無料エリアの周知が必要（実はあまり知られていない…）	1		1
10	1	ロビーだけ音楽を流す	1		1
11	1	馬、ヤギ飼って！	1		1
12	2	職員の閉館作業体験	1		1
13	3	日本とモンゴルとの関わりをもっと学びたい	1		1
14	3	ウクレレ教室をする、コンサート開催	1		1
15	1	豊岡市内の他の博物館・資料館と連携をとる			0
16	1	展示の大部分が変わらない→変化が必要			0
17	1	モンゴルのバンド「The Hu」×現代の楽器			0
18	1	友の会を設立する（伊藤清長のようないい）			0
19	1	展示品が多い→展示品を持って回り出張モン博			0
20	1	ゲルの中にあるラジオで世界のラジオが楽しめるといい			0
21	1	学生の勉強スペースとして活用			0
22	1	小学生も自転車で立ち寄れる場所として活用			0
23	1	限定展示をもっと広く			0
24	1	キャラクターの改名をする			0
25	2	キャンプ			0
26	2	モンゴル食を作って食べる			0
27	2	馬に乗る体験			0
28	2	スタンブライ			0
29	2	リアルモンゴル館脱出ゲーム（謎解き）			0
30	2	ナイトミュージアム			0
31	2	お化け屋敷			0
32	2	衣装+装飾（アクセサリー）のコスプレ体験			0
33	2	専門職大学生の衣装づくりと展示			0
34	2	心霊写真を撮る→SNSに投稿する			0
35	3	戦の歴史をもっと深堀りする			0
36	3	料理教室、調理実習			0
37	3	日本の相撲とモンゴルはなぜマッチしたのか？			0

2班

No	テーマ	コメント	すぐ	重要	シール計
38	1	ロビーに喫茶コーナーをつくる	5	1	6
39	4	遊牧民体験V R（館内説明してくれる、星空）	1	5	6
40	1	子どもが勉強に集中できるスペース作り	4		4
41	1	ゲルのあるローソン		3	3
42	1	情報発信をがんばる（T O Y O O K A I D O・北近畿情報発信）	1	2	3
43	1	ゲルカフェ（ヤギのミルクを使った）	2		2
44	1	現代モンゴル人の生活紹介	1	1	2
45	4	モンゴルの懲悔ルーム（守秘義務守る）	1	1	2
46	4	ゲルをみんなで作ろう（年間プロジェクト的な）		2	2
47	1	モンゴル視力検査	1		1
48	1	モンゴル音楽まつり		1	1
49	1	ゲルで瞑想	1		1
50	1	馬に乗れる体験	1		1
51	1	ゲル宿泊	1		1
52	1	郵便・宅急便	1		1
53	4	映画（豊劇とコラボ）	1		1
54	1	モンゴル盆踊りまつり			0
55	1	モンゴルの井戸端会議			0
56	1	モンゴルB A R			0
57	1	モンゴル餅つき大会			0
58	1	夜集まれるようにする			0
59	1	ナイトミュージアム（お化け屋敷）			0
60	1	子ども園・小・中学生の発表会を行う			0
61	1	コスプレ充実させる			0
62	1	モンゴルのくつしたづくり（寒さ対策どうしてるん）			0
63	1	モンゴルの刺繍教室			0
64	1	馬に乗りながら矢を打つ			0
65	1	モンゴル着付け教室			0
66	1	モンゴル人のための日本語教室			0
67	1	遊牧民体験			0
68	1	レンタルやぎ			0
69	1	ヤギの乳チーズ			0
70	1	こどもとの交流会の実施			0
71	1	はしもとみお作品常設			0
72	1	入りやすい玄関にする			0
73	1	館内が見えるようにする			0
74	1	食料品			0
75	1	ゲームコーナー			0
76	1	キヤッショコーナー			0
77	4	写真コーナーの更新			0
78	4	草原に一人V R			0
79	4	アニメ・ゲームの聖地			0
80	4	ポケモンG Oゲットできる			0
81	4	モンゴルモンスター			0
82	4	ゲル組み立て大会			0
83	4	お悩み相談ルーム（モンゴル人に聞いてもらう）			0
84	4	充実したコスプレ映え写コーナー			0
85	4	パブリックビューイング（プロジェクト）（映画・スポーツ観戦）			0
86	4	135度線（子午線）			0
87	4	婚活			0
88	4	トレカ			0

3班

No	テーマ	コメント	すぐ	重要	シール計
89	1	たんたんマルシェとコラボ（実施予定）	4	2	6
90	1	モンゴル風サバイバル体験	4		4
91	1	イベントの拠点にしてもらう（フリマとか）	1	2	3
92	1	中のゲルに直接泊まる	3		3
93	1	宝まつりのモン博版 →キッチンカー来てもらったり	1	1	2
94	1	羊の解体（モンゴルでは生きたままするが、難しいと思うので遺体を）で無駄にしない調理法 →ちゃんと学びたい人は刺さる →モンゴル館のミッショングに合う		2	2
95	1	モンゴル風サバイバル体験 →モンゴルでは馬や牛のうんちを乾燥させて着火剤にしてる		2	2
96	1	（地元の）音楽グループに馬頭琴を入れる →バイオリンの代わりに馬頭琴（バンドでもオーケストラでも）		1	1
97	1	動物をつれてくる →白馬（スホのような）とか		1	1
98	1	但東の昔の暮らし体験。囲炉裏があるところで →高橋（中屋？）に囲炉裏のあるところがあったのでは？		1	1
99	1	スマホ（調べるの）禁止で自分たちで道具をどう使うのか考える →昔の但東町に戻ってやってみる		1	1
100	1	やっぱり食べる系			0
101	1	町民は無料で入れる→10分間無料で入れる→その後クイズ大会→正解者はもう一度無料で入れる			0
102	1	学校にお願いして来てもらう			0
103	1	ストリート馬頭琴（ストリートピアノみたいな感じで誰でも弾ける）自由に弾いてもいい			0
104	1	（地元の）音楽グループに馬頭琴を入れる →大きい馬頭琴もある（チェロみたいに）			0
105	1	（地元の）音楽グループに馬頭琴を入れる →本国では現代音楽（HIP-HOPとか）に入っていることもある			0
106	1	（地元の）音楽グループに馬頭琴を入れる →日本の音楽に入っていたら面白い（需要が増えれば借りにきてもらえるかも）			0
107	1	楽器が弾ける人を集めて馬頭琴を弾いてもらう →弾き方が難しい			0
108	1	楽器が弾ける人を集めて馬頭琴を弾いてもらう →馬頭琴の値段は高い。10万以上する。			0
109	1	楽器が弾ける人を集めて馬頭琴を弾いてもらう →ひなまつりで演奏しにくる人を呼ぶ			0
110	1	楽器が弾ける人を集めて馬頭琴を弾いてもらう →何か月かに一回			0
111	1	ガーデニングイベント。モンゴル感が出てる体験（あいはしみちばたガーデン）			0
112	1	イベントにゲルをつかう。			0
113	1	ファンマーケット→駐車場になってるのを活かす			0
114	1	（たかはし子どもカフェの）フリーマーケット			0
115	1	シャガーの占いが出来ると良い			0
116	1	宝まつりのモン博版 →秋じゃないときとかに			0
117	1	馬に乗って通学体験			0
118	1	モンゴル人力士を呼ぶ			0
119	1	→部屋の許可が厳しい			0
120	1	→引退した人でも良いのでは？			0
121	1	→城北相撲部に来てもらう			0
122	1	→モンゴル相撲体験（昔、商工会でやったことがある。）			0
123	1	→その時は30人くらい集まった			0
124	1	→モン博の何周年かの時。			0
125	1	→地元の人はあまり参加しない。どこかの格闘サークルみたいなのが来てた。			0
126	1	→格闘技好きは来るかも			0
127	1	→本場のモンゴル相撲は、土俵が無い。ストリートファイトみたいに、時間無制限で、そこらじゅうでやってる。			0

●次回について

5月9日/但東振興局にて実施。内容は、上記のアイデアを各班1~2個に事務方等で絞り、その内容について詳細を検討していく。

④3回目ワークショップ

●3回目のワークショップの目標

1回目に多くの情報についてインプットしていただき、意見交換を行った。2回目は実際に博物館を見学したうえで多くのアイデアを出し、重要・すぐできそうを分けてもらった。以上の結果を受けて、3回目では、1グループ2~3程度のアイデアについてより具体的にイメージを膨らませるためのワークを行う。

上記を目標とし、以降の報告の通り、概ね達成することができた。

●実施日時

2025年5月9日(金)19時30分~21時 所要時間1時間30分

●実施場所

但東振興局

●参加者

ワークショップ参加者12名

行政関係者3名

ちいきのて4名

●実施内容

・前回の振り返り

・各班以下の内容について詳細内容を検討

1班)

地域の人が先生をするワークショップ(だいかい大学のイメージ)

ゲルキャンプ(ゲルを建てる体験・泊まる体験)

ナイトミュージアム・お化け屋敷

2班)

ロビーに喫茶コーナーをつくる

子どもが勉強に集中できるスペースづくり

現代モンゴル人の生活紹介

3班)

イベントの拠点にしてもらう(どんなイベントにするか検討しよう)

ゲルキャンプ(中のゲルに直接泊まる)

但東の昔の暮らし体験

●意見交換の実施結果

1班

アイデアを具体的にしよう！(1班)

アイデア名:地域の人が先生をするワークショップ(だいかい大学のイメージ)

企画名

- ・モンバくてらこや(寺子屋)

ネーミングが
かわいい♪

どんな内容？

- ・但東やモンゴルに関するワークショップを行う。
- ・まずはモン博に来るきっかけをつくる。
- ※()内が講師候補
- ・モンゴル料理教室(ラマーさん)
- ・かご編み(岡井さん)
- ・ちりめんの歴史(太田さん)
- ・岡井さんのかご編み×モンゴルのかご編み
- ・モンゴルの歴史・元寇を知る(モン博)
- ・日本のコウモリ×モンゴルのコウモリ(永井さん)
- ・あたごトンネルやたんたんトンネルの歴史(詳しい人)
- ・但東のまちの歴史(詳しい人)

モンゴル語教室も、
あまりなじみがないので教えてもら
えたら面白そう

まずはモン博に
足を運んでもら
うというコンセ
プトが良い

どんな人に参加してもらいたい？

- ・但東町の子どもたち
- ・近隣市町の人(与謝野町など)
- ・但東町の住民

岡井さんのかご編
みワークショップ
楽しかったです。

インバウンド活用
(外国の方にも)
—京都から

どこでやりましょう？

- ・博物館の図書コーナー

準備するもの

- ・テレビ、スクリーン

いつ頃やりましょう？

主体となる人・関係する人

- ・豊岡モンゴル友好協会
- ・コミセン
- ・いつなつと

予算(何にお金がいる？どこから捻出する？)

収入:参加費

アイデアを具体的にしよう！(1班)

アイデア名:ゲルキャンプ(ゲルを建てる体験・泊まる体験)

企画名

- ・モンゴル夏祭り
- ・モンゴル帝国のナゾを解け!!

どんな内容？

- ・「ナイトミュージアム×スタンブラー」
- ・「ナイトミュージアム×ゲルキャンプ」
- ・「ナイトミュージアム×脱出ゲーム」
- ・「ナイトミュージアム×宝探し」
- ・懐中電灯を使って博物館内をまわり、ドキドキ感を味わう
- ・非日常的な体験
- ・博物館の外で星空観察も合わせて実施
- ・夏祭りのイメージ

脱出ゲーム
面白そう

星に詳しい人がい
れば星の説明が
あると良い。空に
向けてさすポイン
ターがあればなお
良い

外の芝生に寝転
がって星を見上げ
るとか?

どんな人に参加してもらいたい？

- ・近隣市町の人(丹後方面)
- ・若者
- ・帰省中のひと

展示物をいかに恐
ろしく見せるかが
重要

ナイトミュージア
ムとゲル泊を組め
ればなお良いかと
思います。

来館者の宿泊企画、
温泉等コラボ

どこでやりましょう？

- ・博物館内外

準備するもの

- ・夜用のライト、発電機
- ・スタンプ(スタンプ用紙)

ライティングにこ
だわる

安価で簡単なプロ
ジェクションマッ
ピングで動きを加
えることができな
いか

いつ頃やりましょう？

- ・夏の夜
- ・帰省の時期(お盆)

主体となる人・関係する人

- ・コミセンに物品を貸してもらう、広報誌に載せて
もらう
- ・振興局、博物館、コミセンが広報・宣传
- ・1人で主役！ではなくみんなで役割分担する
- ・丹後のコミセン的な事務局と連携できると良い

予算(何にお金がいる？どこから捻出する？)

- 収入:ナイトミュージアム参加費(外のマーケット
は店に)
- 支出:イベント保険、消耗品等

2班

アイデアを具体的にしよう！(2班)

アイデア名:ロビーに喫茶コーナーをつくる

企画名
・そうげんCAFE
・風とミルクのスタンド
～Nomadic Flavors～

映画の題名み
たいで良い

どんな人に参加してもらいたい?
・一般客or地元民
・ターゲットを絞る
・内発カリビーターか

どこでやりましょう?
・入口左奥の和室
・企画室
・ゲル

オープンテラスに
できそうな場所が
あれば屋外でも

いつ頃やりましょう?

どんな内容?
・スタバのカフェスタンド(どんぐりベースをイメージ)
利点:ブランド力があり集客力効果も
・収蔵品を見ながら
・モンゴルの音楽が流れている
・モンゴルの音が聞こえる(風の音、街の音)
・遊牧民メニュー、草原の映像
・談話できる

カフェと勉強室を隣接し
ていたほうがオシャレ感
がでるのでは?

お弁当持
って食べたい

軽食欲しい

レンジ調理でき
る程度の軽食メ
ニュー

「ゆっくり」
「のんびり」
「すごしたい」

準備するもの

・モンゴルのアンティークの食器
・モンゴルの食材、草原を映すモニターやスクリーン
・モンゴルの駄菓子、ジュース、モンゴルらしい飲み物、食べ物
・スタバのタッチマシーン、スタンドなのでカウンター

・談話室的にするならソファーやチェア
・ヤギのミルク

主体となる人・関係する人
・モンゴル人、地域おこし協力隊
・季節限定で学生アルバイト

協力隊よりは
地域の人にして
もらう

予算(何にお金がいる?どこから捻出する?)
・(入館料に)ドリンク代別or込み
・家族割
・クラウドファンディング

返礼品でコーヒー無料とか
チケット半年フリーパス

アイデアを具体的にしよう！(2班)

アイデア名:子どもが勉強に集中できるスペースづくり

企画名
・夏の(冬の)ゲルLab

夏休み宿題終わらせちゃおう会

名前が良い
感じ

どんな人に参加してもらいたい?
・帰省している子どもも対象に

どこでやりましょう?
・和室

場所分けるなら伝承館
カフェは図書コーナー

会議室の開放す
るのは難しい?

いつ頃やりましょう?

どんな内容?
・(学校の)長期休暇
・(利用対象を)時間で分ける
9:00～16:00は学習
16:00～カフェ
・パーティションで区切る
・ドリンクチケット

子どもの「待合
スペース」

準備するもの
・(座面の)高い机(低いと勉強しにくい)

主体となる人・関係する人
・高校生、大学生が先生役

予算(何にお金がいる?どこから捻出する?)
・クラウドファンディング

3班

<p>アイデアを具体的にしよう！(3班)</p> <p>アイデア名:イベントの拠点にしてもらう(どんなイベントにするか検討しよう)</p>	
企画名 ・宝まつりwith生きる力を鍛えるキャンプ	どんな内容? ・フェスをしても良いのでは→若い人とかバンド呼べる ・SNSで来館したことを見ている作家さんや、ユーチューバーを呼ぶ ・ゲルキャンプ(前日2日)→ゲルカフェ(当日3日:予約制で一度に3~4名)→ハードルが高ければカフェだけでも ・馬で敷地内を1周(白馬が良い)
どんな人に参加してもらいたい? ・高橋、合橋の人	対象エリアを広く丹後も アニソンライブ(くわがき) モン博ロックフェスみたい 豊岡ロックフェスの人つなげてもらう
どこでやりましょう? ・敷地全体で開催	準備するもの ・ゲル ・モンゴルティー
いつ頃やりましょう? 11月3日 10:00~15:00	主体となる人・関係する人 ・資母CC ・数森さん(好きそう) ・前田敦さん(ゲルキャンプ) ・モン博の人(ゲルカフェ) 予算(何にお金がいる?どこから捻出する?) ・30万 地域活性の補助金みつける

<p>アイデアを具体的にしよう！(3班)</p> <p>アイデア名:ゲルキャンプ(中のゲルに直接泊まる)</p>	
企画名 ・宝まつりwith生きる力を鍛えるキャンプ (宝まつりの中の1ブース)	どんな内容? ・ゲルに入る前にモルックとかポッチャ ・薪割り ・バックヤードツアーアイナー ・キャンプファイア ・たんなん温泉のチケット付きで、お風呂はたんなん温泉へ
どんな人に参加してもらいたい? 限定二組(数森さんが持つたら3組*準備できるゲルの数による)	ゲルだけでなく持込みテントも可にすれば
どこでやりましょう? 展示中のゲルと、外に建てる	準備するもの ・モルック、ポッチャ ・寝袋(キャンプ業者から借りる) ・伝承館の斧を使う
いつ頃やりましょう? 11月2日~3日 (昼~翌朝)	主体となる人・関係する人 ・モルック、ポッチャ→スポーツクラブ ・キャンプ業者にスケジュール組んでもらう(イツナットや前田敦さんなど) ・ゲルの建て方レクチャーする人 ・宿泊できる人(職員)・酒井さん、今本さん ・宝まつりと連日になるので、地域外の方がいいかも 予算(何にお金がいる?どこから捻出する?) キャンプ泊まり込みご飯付きで1組1万5千円 参加費 1棟1万5千円

<p>アイデアを具体的にしよう！(3班)</p> <p>アイデア名:但東の昔の暮らし体験</p>	
企画名 ・宝まつりwith生きる力を鍛えるキャンプ	どんな内容? ・2日昼、ゲル建て 夕方 ご飯作り 夜 お風呂(たんなん温泉)
どんな人に参加してもらいたい? ・ゲルに泊まる人 ・子供会	翌日はお祭りの手伝い 泊まった人は手伝う ・スマホ無し ・薪割り ・ジビエ豚汁 ・火おこし ・窯で米炊き→ダメだったら飯盒炊爨 ・釣り ・魚つかみ
どこでやりましょう? ・モン博内	準備するもの ・伝承館にあるもの ・モンゴルの調味料
いつ頃やりましょう? 11月2日夕方	主体となる人・関係する人 ・酒井さん、今本さん ・太田源ちゃん ・イツナットさん ・くわがきさん(桑の実会) 予算(何にお金がいる?どこから捻出する?) ・キャンプ参加は参加費をもらう

⑤4回目ワークショップ

●4回目のワークショップの目標

1回目に多くの情報についてインプットしていただき、意見交換を行った。2回目は実際に博物館を見学したうえで多くのアイデアを出し、重要・すぐできそうを分けてもらった。3回目は2~3のアイデアについて具体的なイメージを膨らませることができた。上記の結果を受けて、4回目では、今までのまとめを確認しつつ、本当に実施していくための詳細部分について検討を行った。

●実施日時

2025年7月4日(金)19時~20時30分 所要時間1時間30分

●実施場所

豊岡市役所但東振興局2F 大会議室

●参加者

ワークショップ参加者11名

福知山公立大学 渋谷教授

行政関係者3名

ちいきのて4名

●実施内容

・前回の振り返り

・各班ごと以下の内容について詳細の検討

1班…「モンゴル博物館」を主眼に置いた事業実施

　　ゲルキャンプ(ナイトミュージアム)について、来年度実施に向けて、スケジュールを組んで、「みんなで役割分担」をもう少し具体化する

2班…「施設利用」を主眼に置いた事業実施

　　カフェスペース・勉強スペースとともに図面を見ながら割り振りし、具体的に実施主体/工程/予算を検討する

3班…「但東のくらし・文化継承」を主眼に置いた事業実施

　　「但東の昔の暮らし体験」を宝まつりの1ブースとして実施する場合に、どのような内容であればできるか、検討する

●実施結果

1班/ゲルキャンプ(ナイトミュージアム)について来年度実施に向けてスケジュールを組んでみよう

実施の時期:お盆前の土日(8/8,9あたり)、ひまわりの時期

実施の内容:

博物館設立30周年記念に寄せて、夏祭りを開催。

(1)ナイトミュージアム×謎解き(有料、入館料が別途かかる)

事前予約+当日券のチケット制、飲食割引をつける

(2)屋台販売(出店料有り)

(3)星空観察

いつ頃	なにを?	だれが?	備考
2025年秋頃	・実行委員会の立ち上げ ・予算要求	・実行委員会(振興局、博物館、コミセン、WS参加者など) ・WSに参加した発起人で公募する	
2026年5月	・コミセンたよりで予告掲載	コミセン	
2026年6月	・振興局から丹後方面へ広報の協力要請(小学校へのチラシ配布など)	・振興局	
イベントまで	・謎解きのコンテンツを作成する	・博物館、学芸員	

その他:

- 想定される支出…チラシ印刷、人件費？
- キャラクター製作をしたい
- タイトルイメージ「モンパク夏フェス」
- 謎解きについて

謎解きのコンテンツはより専門的で面白みのある内容になるよう、学芸員の方に協力いただく。内容のみで、資料作成等の実務は実行委員会で担当する。

- 星空観察について

レーザーポインターで示す」案があったが、懐中電灯で代用できそう。

一斉に明かりを消して星空観察、もしかしたら流星群が見られるかもしれない。

- 屋台販売について

但東で所有している屋台の骨組みが活用できそう。(すごく重い)

- 実行委員会の公募について

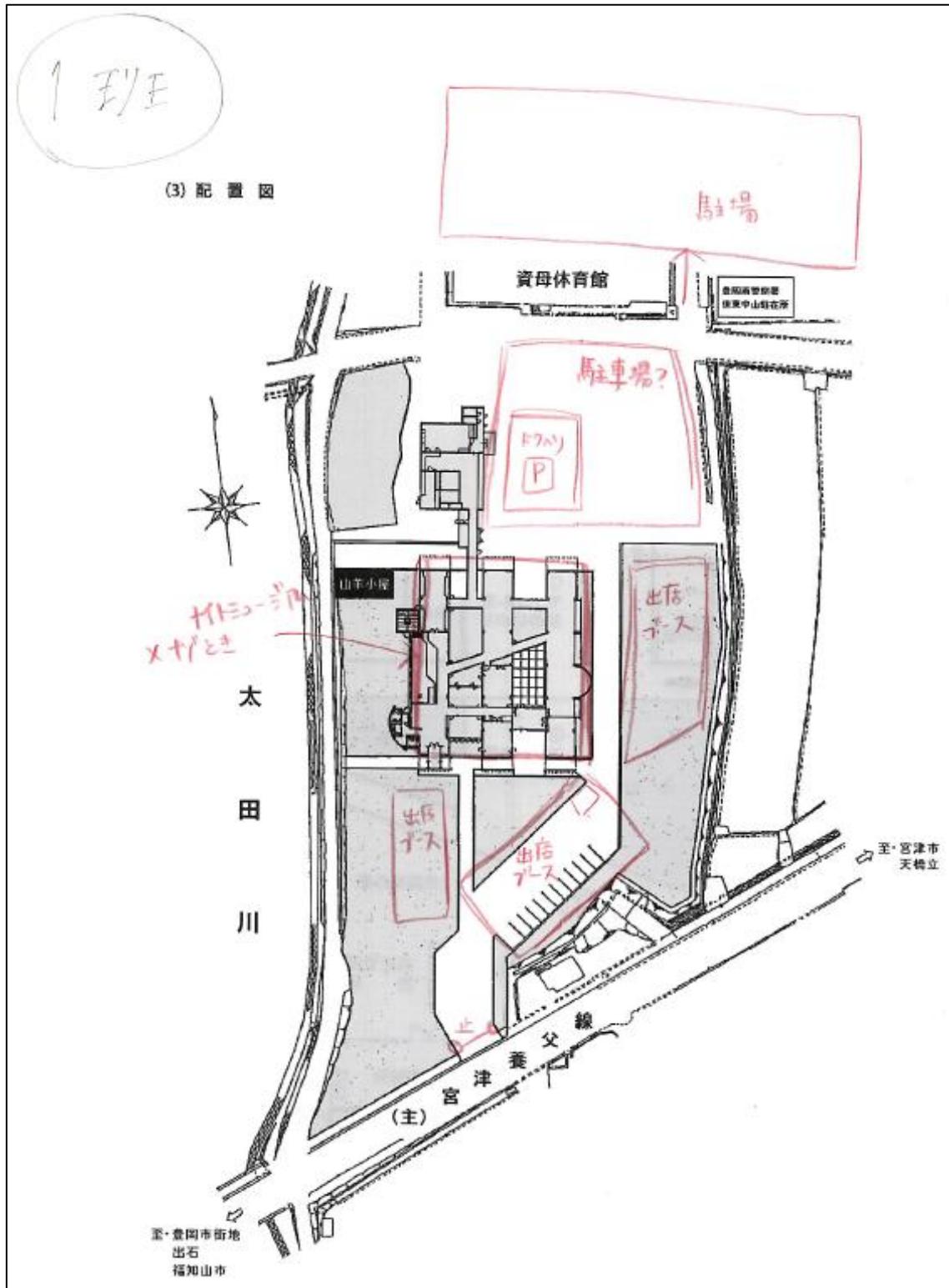
但東地域外からも実行委員として参加してもらえるとよい。

- 豊岡市外への広報について

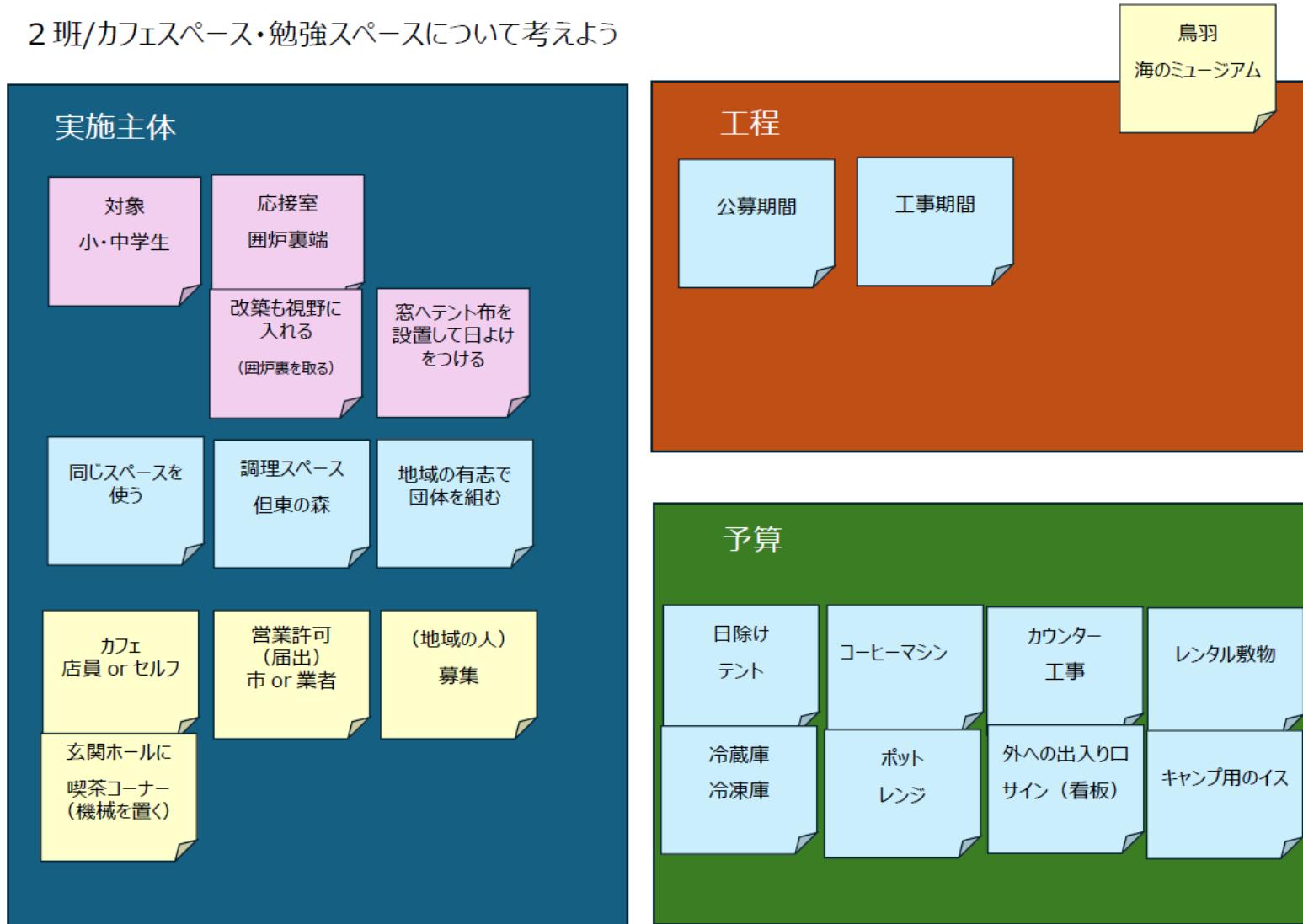
過去に個人で豊岡市外にチラシ設置をお願いしたところ苦戦したため、振興局から依頼するほうがよりスムーズにできると判断。

174

(3) 配置図



2班/カフェスペース・勉強スペースについて考えよう



3班/「但東の昔の暮らし体験」を宝まつりの1ブースとして出展しよう

出展内容

- ・ヤギ小屋付近→BBQ
 - ・古墳付近→火起こしの歴史
 - ・広場→野菜市
- *スマホで調べるの禁止！

開催時間:10:00~15:00 七輪BBQ+石臼挽きコーヒー 内容:現場にある道具だけ自分で火を起こし、七輪でジビエBBQをするコーナー

今年度実施するとした場合、いつ頃・どんなことを・誰が準備するか

主体:資母若者プロジェクト中心

準備物:七輪(10個ほど)、網、火起こしの道具(火打石があれば、木の棒のやつ、ファイヤースターター、マッチ、ライター)

薪セット(杉葉、松ぼっくり、薪木)火箸、麻紐、軍手(振興局からもらえるらしい)、消火器(3台くらい)、防火マット、団扇、火消壺

調理品:箸、紙皿、紙コップ、おてふきなど

食材:ジビエソーセージ、ピーマン、さつまいも *その他にも野菜市で売っているものを持ち込んで焼いて也可

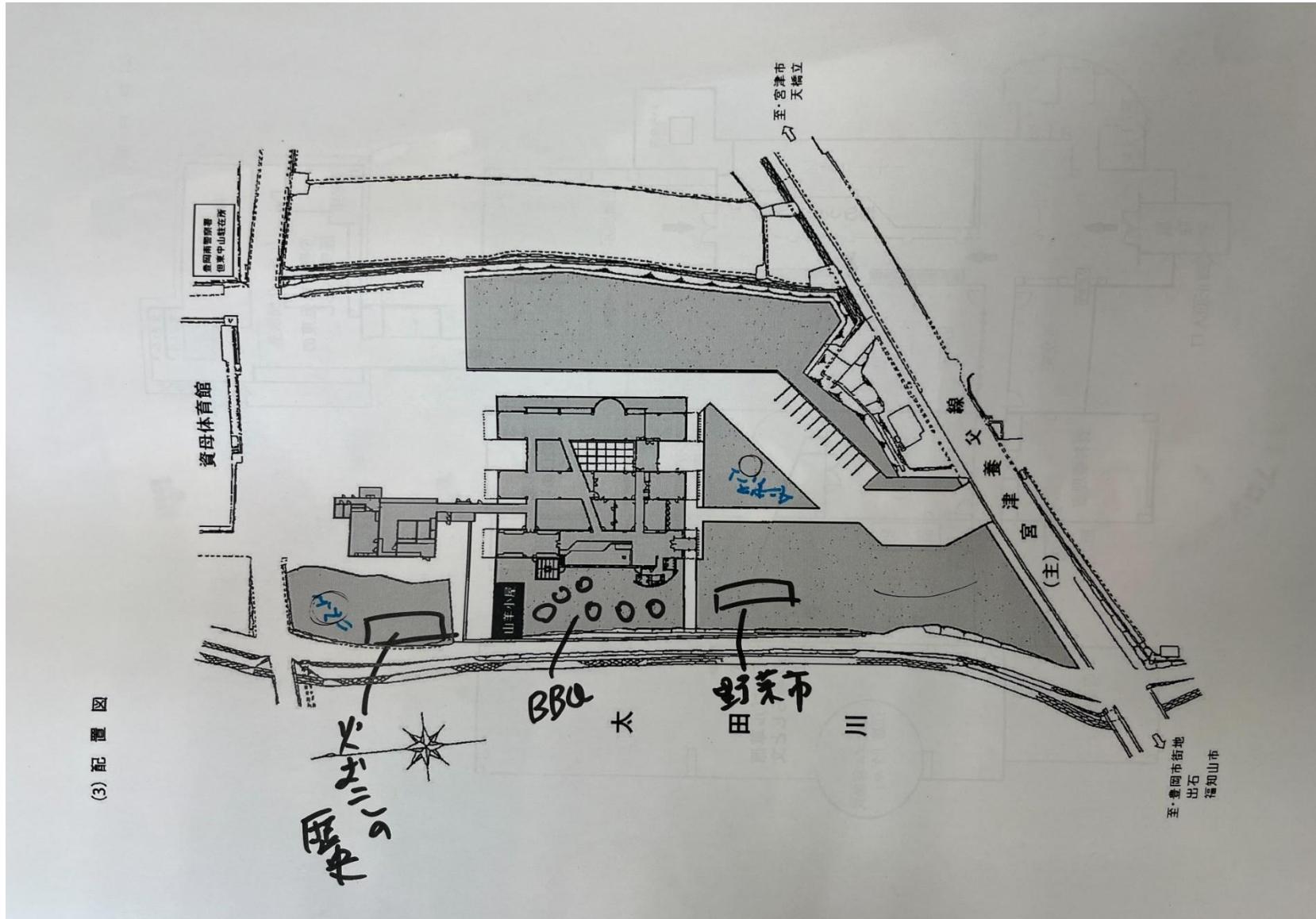
見守りスタッフ5人以上

必要な予算等

体験料:2000円(1グループ)

七輪→ネットで安く買える／軍手→振興局に余っているので、もらえるとのこと／杉葉などは拾ってくる

(3) 配置図



5. 「多様性のある地域社会に向けて」講演会

本意識調査業務の最後に、アドバイザーの福知山公立大学渋谷節子先生より、多様性のある地域社会に向けての講演をいただいた。本講演は、日本・モンゴル民族博物館を活用した但東の地域づくりに資する、多様性の視点や多様な方が暮らす地域社会について学ぶ場として機能させることを目的とした。

以下、講演の内容を記載する。

- 講演日時

2025年9月6日(土)13時30分～15時(約90分)

- 講演会場

豊岡市役所但東庁舎2F 大会議室

- 参加者数

32名

- 講演タイトル

「多様性のある地域社会に向けて」

- 講演内容

- 【講演内容要約】

この講演では、渋谷先生が多文化共生と多様性について2部構成で話した。

第1部では文化の定義から始まり、異文化理解の重要性、文化相対主義の考え方、そして地域社会における多文化共生について説明した。

第2部では多様性の意義、人権の観点からの多様性の重要性、そして多様性のある社会づくりについて論じられた。

渋谷先生は、文化を広く捉え、外国の文化だけでなく地域差や世代間の違いも異文化として認識することの大切さを強調した。

また、多様性のある社会は単に人権の観点から重要なだけでなく、社会をより豊かにするものだと主張した。

講演の最後には、ゴミ分別の問題を例に挙げ、異文化理解と相互コミュニケーションの重要性を強調した。

- まとめ

本講演を通して、但東町で暮らしている・訪れる外国人または外国にルーツのある人と地域と一緒に作っていくことについて、参加者は一定の理解をされた。但東町の地域づくりにおける日本・モンゴル民族博物館の活用についても、本内容

を基に異文化・多様性の理解を深めるための「ハブ」となる可能性を見出すことができた。

6. 今後について

本調査では、今までの結果の通り、地域との様々な連携による可能性を見出すことができた。そのうえで、地域のみなさんが考える但東の地域づくりに日本・モンゴル民族博物館が果たすべき役割(機能)は以下の3つであることが明確となった。

- (1) 日本唯一の「モンゴル」を冠した博物館
- (2) 地域住民の交流の場
- (3) 但東地域の暮らし・文化や観光情報等の集積・発信

これらの役割については、特にワークショップ参加者より意見が出され、その活用アイデアが意見交換の中で活発に議論された。

従って、本報告に記載があるような、当館を活用した但東における地域づくりに関するアイデアを実施し、地域づくりに資するような動きが当館の役割のひとつとなる。

また、アンケート調査内でもたくさんのご意見をいただいたが、それらを当館のみならず様々な主体と共にできることを行っていくことで、但東地域における地域づくりの活性化を図っていくことが必要である。